

国家公務員試験ガイド 2027 総合職

国のミライをつくる、唯一無二の挑戦がある



国のミライをつくる、 唯一無二の挑戦がある

公務のブランドメッセージ

社会全体に公務のポジティブなイメージを発信していくため、2025年7月に公務ブランディング府省横断チームが立ち上がりました。様々な府省の職員が自身の経験などから自分の仕事の価値や魅力を議論しあい、公務の仕事への「想い」を整理しました。サブメッセージとして「6つの種」もあわせて公表しています。



6つの種

- 守るべき日常を守り、新しい日常も創る
- 主語は「日本」対象は「国民」 日本まるごと、自分ごと
- 人を想い、社会のあたりまえをアップデートする使命
- キャリアの可能性は、この国いっぱい広がっている
- 国家公務員、すべてが仲間 「きれいごと」を本気で形にできる場所
- 社会に感じる「^{はてな}？」のため、私たちの挑戦がある

公務ブランドメッセージ
コンセプトブックはこちら



国家公務員とは？

憲法により「全体の奉仕者」とされ、公のための仕事に携わる公務員は大きく国家公務員と地方公務員に分けることができます。

国の業務に従事する国家公務員は、特別職と一般職があります。

みなさんが頭に思い浮かべる国家公務員とは、各府省で働く一般の行政官や、外交官、税務職員などではないでしょうか。これらのほとんどは一般職の国家公務員に分類されます。

具体的な業務内容は各府省や担当するプロジェクトによってさまざまですが、全体の奉仕者として連携しながら、政策を実際に前へ進めていく。それが国家公務員の仕事です。

会計検査院



財政執行の監視人

内閣から独立した憲法上の機関として、国や法律で定められた機関の会計を検査し、会計経理が正しく行われるように監督する職責を担う。



人事院



公務員を元気に 国民を幸せに

中立・第三者機関として、人事行政に関する公正の確保及び国家公務員の利益の保護等に関する事務を行う。



内閣官房国家情報局



内閣の情報アドバイザー

官邸直属の情報機関として「内閣の重要政策に関する情報」の収集、分析、報告を行い、官邸の政策決定、遂行を支援する。



内閣法制局

内閣法制局
Cabinet Legislation Bureau

法令・条約の審査役

法制的な面から内閣を直接補佐する機関として置かれており、閣議に付される法律案、政令案及び条約案の審査や法令の解釈などの任務を担う。



内閣府



日本の未来を切り拓くデザイナー

経済財政政策、男女共同参画、沖縄政策等の国の重要政策に関する企画立案・総合調整や、栄典、政府広報等の国家基盤となる業務を担う。



宮内庁

宮内庁
Imperial Household Agency

皇室のサポート役

皇室関係の国家事務を担い、国民と皇室の橋渡しを行う。



公正取引委員会



市場の番人

独占禁止法に基づく取締りや競争環境の整備を通じて、市場の公正かつ自由な競争を維持・促進し、創意あふれる事業者が前進できる社会を実現する。



警察庁



市民の安全を守るリーダー

警察に関する制度の企画・立案、都道府県警察の指揮監督を行い、公共の安全と秩序を維持する。



個人情報保護委員会



個人情報の見張り番

個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図る。



カジノ管理委員会



クリーンなカジノの守り人

IRを支えるカジノの厳格な規制によりその健全な運営の確保を担う。



金融庁

金融で未来をデザインする



金融制度の企画立案・金融事業者のモニタリング・金融外交等を通じ、金融の力を活用して社会・経済の諸課題の解決に取り組む。



消費者庁

消費者行政の舵取り役



消費者の利益の擁護及び増進に関する基本的な政策の企画・立案等を担う。



こども家庭庁

こども・子育て政策の司令塔

こどもまんなか
こども家庭庁

こども・若者やこどもたちを育て、支えているみなさんの声をまんなかに捉えた政策を推進し、全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活をおくることができる「こどもまんなか」社会を実現する。



デジタル庁

デジタル社会形成の司令塔

デジタル庁

未来志向のDX(デジタル・トランスフォーメーション)を大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを一気呵成に作り上げることを目指す。



防災庁

防災の司令塔

我が国の防災の在り方を構想し、徹底的な事前防災と発災時から復旧復興までの一貫した災害対応の司令塔を担う。多様な立場の人々と協力しながら、「皆で共に創る防災立国」の実現を目指す。



総務省

行政全体のマネージャー



国の行政制度、地方行財政、情報通信等、国家の基本的仕組みに関わる諸制度を担い、新時代の日本を創成する。



消防庁

災害対策・対応の司令塔



平時は消防に関する制度の企画・立案を行い、大規模災害時は緊急消防援助隊の派遣等のオペレーション業務等を行い、国民の安心・安全を担う。



法務省

公正・公平な社会の実現



社会の安定と正義の実現に貢献する広範な分野をカバーしており、その業務内容は司法制度の企画・立案、検察業務、犯罪者の矯正や更生保護、人権擁護、国籍・戸籍・登記・供託事務など多岐にわたる。



出入国在留管理庁

外国人共生で
未来を拓く挑戦者



「世界をつなぐ。未来をつくる。」を合言葉に、外国人との共生社会の実現を担う政府の司令塔として、出入国の管理、在留の管理、受入れ環境整備、退去強制、難民等の認定の5つの分野で日本社会を支える。



公安調査庁

情報のプロフェッショナル



暴力主義的破壊活動を行う危険性のある団体を調査し、得られた情報を団体の規制に活用するほか関係機関に提供することで、日本の安全に貢献する。



外務省

国際社会における日本の体現者



国際社会が時代を画する変化に直面する中、日本の安全と繁栄を確保すべく、安全保障、経済、国際協力、国際法、広報文化等の幅広い分野を通じて対外関係を維持・発展させること。



財務省本省

よりよい日本社会をつくる



日本の予算・税制等の財政政策、為替・金融市場等のマーケット関連政策、経済外交・関税交渉等の国際関連政策の企画・立案などにより、国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。



財務省財務局



国と地域をつなぐ

財務省の総合出先機関として、また、金融庁からの事務委任を受け、財政・国有財産や金融等に関する施策を実施し、国・地域社会の両方に貢献。



財務省税関



国のゲートキーパー

水際における密輸取締、適正かつ公平な関税等の賦課徴収、貿易円滑化の推進等を目的に貿易秩序と国民の安全・安心を守る業務を担う。



国税庁



日本を根底から支える

約5万6千人の職員が一丸となり、「適正・公平な課税及び徴収の実現」という揺るぎない正義感を持ち、この国の原動力として日本を支える。



文部科学省



未来づくりのプロフェッショナル

教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の振興等を通じ、「人」と「知」を育み、次世代のこどもに向けて、豊かな未来を紡ぐ使命を担う。



厚生労働省



かけがえない生活の「要」

国民生活の保障・向上、経済発展に寄与するため、社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上・増進、労働条件や労働環境の整備、職業の確保等を担う。



農林水産省

農林水産省

食と環境を未来へつなぐ

生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくため、食料の安定供給の確保、農林水産業・農山漁村の振興、森林の整備・保全、水産資源の保存・管理等を担う。



経済産業省



日本経済の牽引役

「未来に誇れる日本をつくる。」をミッションに、経済活力の向上を図る産業・イノベーション政策、対外経済関係の発展に向けた通商・貿易政策、経済社会活動の基盤となる資源・エネルギーの安定供給を推進する。



特許庁



「知的財産」の守り人

特許、実用新案、意匠及び商標に関する審査及び事務を行うことを通じ、産業の発展に寄与する。



国土交通省



豊かな暮らしと経済の実現

多様な「インフラツール」を駆使して国内外の“現場”を動かすことで、豊かな暮らしを支え、経済を活性化させる。



気象庁



科学技術を駆使する防災のプロ

気象、地震、津波、火山活動等の自然現象を監視・予測し、利用目的に応じた適時的確な気象情報を作成・提供することで、自然災害の軽減、国民生活の向上、交通安全の確保、産業の発展などに寄与する。



運輸安全委員会



事故調査で運輸の安全を担う

航空・鉄道・船舶事故の原因及び被害の原因を究明するための調査を行い、原因関係者に勧告を行うこと等により、再発防止・被害の軽減に寄与する。



海上保安庁



日本の海の守護神

海上における治安の確保、領海警備、海難救助、海洋環境の保全、自然災害への対応、海洋調査、船舶交通の安全確保など多種多様な業務を担う。



環境省



地球と人類の未来の守り人

気候変動対策、資源循環促進、生活環境保全、生物多様性保全、東日本大震災からの復興・再生等の施策を通じ、創設以来の使命である「人と環境を守る」取組を追求する。



原子力規制庁



世界最高水準を目指す確かな規制

「原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守る」という使命の下、原子力・放射線利用の安全やセキュリティに関する規制、放射線監視や原子力災害対策、核不拡散に関する取組などを総合的に担う。



防衛省



平和と独立を守る「最後の砦」

私たちの日常、すなわち社会・経済・文化などは「平和」という土台の上に築かれている。戦後最も厳しく複雑とされる安全保障環境の中、国家の平和と独立を守るため、安全保障政策の企画から実行までを担う。



防衛装備庁



装備品を通じて国の安全に貢献

防衛省・自衛隊の活動基盤の一つである防衛装備品等について、その開発及び生産のための基盤の強化を図りつつ、研究開発、調達、補給及び管理の適正かつ効率的な遂行並びに国際協力の推進を図ることを任務とする。



行政

警察庁

「当たり前の幸せ」を守る

能宗 佑圭

出向先 長崎県警察刑事部
捜査第二課長
2021年採用

記憶に残っている業務

悪質なホストクラブで多額の売掛金を背負わされ、売春等を余儀なくされる女性たちの存在が社会問題化したことを受けた風営適正化法改正に携わりました。警察庁が法改正の作業をした後は、各都道府県警がその法律を運用して問題解決を図っていくこととなります。単なる法律論ではなく運用まで責任を持つことができました。警察庁の仕事の醍醐味を感じました。

仕事の面白み、やりがい

治安という国家の基盤に貢献できること。日本に暮らす皆さんが、安全で守られた明日が来ることを当たり前信じられるために汗をかけること。自分の職業人生を賭けるに値する仕事だと確信しています。



もっと
詳しく読む ▶



政治・国際・人文

外務省

世界を舞台に学び続ける

三上 真穂

外務省在セネガル日本国大使館・
二等書記官
2021年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は法律や国際政治を学びました。理論どおりに実際の国際政治が動くわけではありませんが、答えのない大きな諸問題を前に、筋の通る最善の道を探し、手探りながらも進んでみるという姿勢は、学生時代の勉強に近いものがあると感じます。

仕事の面白み、やりがい

外務省が所掌する仕事の範囲は幅広いので、良い意味で将来自分が何に携わっているか予測がつかません。入省時は、自分がセネガルに赴任し、管轄国の大統領や閣僚と直接会う機会に恵まれるとは思いませんでした。その分都度勉強が必要になりますが、新たな発見があり、学びが尽きないところに面白みがあると感じます。



テレワークあり

もっと
詳しく読む ▶



法律

財務省

“想い”を形にし、次世代に責任を持つ

吉岡 凌

財務省
関税局関税課 企画第二係長
2020年採用

記憶に残っている業務

内閣官房副長官補室では、その時々政権の旗印ともいえるべき政策を進めるべく、各省庁との総合調整を担っており、デジタル行財政改革や米国関税措置を受けた対応といった政策テーマに携わることができました。初めて関係閣僚会議を担当した際には、総理・官房長官のもと、官邸の会議室に勢揃いする閣僚を前に、政府の意思決定の最前線に立っていることの責任を強く実感しました。

仕事の面白み、やりがい

安全・安心な社会の実現や、経済社会改革・経済成長の実現等を通じ、希望ある社会を次世代に引き継いでいくという想いは、どのポストであっても貫くことができます。その上で、予算編成、法令改正、総合調整など様々なアプローチから、また企画立案から現場の執行まで幅広い関わり方を通じて、社会の変化に責任を持ち、学びを深めながら、“想い”を実現していけるということこそが、面白みとやりがいだと感じています。



テレワークあり
フレックスあり
もっと
詳しく読む ▶



経済

内閣府

日本経済を測り、分析し、 政策につなげる



テレワークあり
もっと
詳しく読む ▶



本橋 直樹

内閣府経済社会総合研究所
国民経済計算部国民支出課
課長補佐
2015年採用

記憶に残っている業務

2022年の総合経済対策の策定に際し、ウクライナ危機を端緒とする物価高が政策課題となる中、政策の効果試算を行いました。物価抑制効果の試算は初めての試みで、タフな局面もありましたが、策定後の総理会見で自分の試算結果が引用されているのをテレビで見た時は感慨深いものがありました。

仕事の面白み、やりがい

緊張感のある仕事は時に厳しく、しんどい局面もありますが、それを乗り越えた時の達成感はひとしおです。また、業務を通じて日々自分の成長が実感できるので、長く取り組むことができるやりがいのある仕事だと思っています。

教養

金融庁

国際・国内の両面から金融に携わる

佐野 菜津子

金融庁総合政策局
総務課国際室
2024年採用

日々の仕事

金融庁は、日本が議長国を務める保険監督者国際機構 (IAIS) において、保険監督に関する国際基準策定等の議論を牽引しています。自身もIAISの作業部会のメンバーとして保険当局間のグローバルな連携にかかる実務に関与しているほか、IAIS事務局や各種国際機関等との交渉・調整業務に日々従事しています。

仕事の面白み、やりがい

日々の一つ一つの業務が、日本や世界を支えることにつながっている点です。例えば、国際会議の運営や意思決定に際しては、関係者間での綿密かつ細かな調整が重ねられています。自身もそのような調整に携わる中で、大きな成果も細かい業務の積み重ねの上に成り立っていることを実感しました。



教養

防衛省

日本と欧州をつなぐフロントマンとして



大野 志温

防衛省防衛政策局国際政策課
防衛部員
2019年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は外交史や国際政治を専攻していました。当時から、自らの専門を仕事に活かせるようなプロフェッショナルになりたいと思っていましたが、現在はまさに、当時学んでいた国際政治の最前線に立つ仕事をしています。諸外国との交渉や戦略的な発信を考える際など、学問の世界で学んだことを実務に応用できた時はとてもやりがいを感じます。

仕事の面白み、やりがい

最大の醍醐味は対外関係に関する省内の意思決定の場に近いことです。自分のアイデアが大臣を含む高官の言葉として対外発信される時は静かにこの仕事のやりがいを噛みしめます。そして、相手国との交渉や接遇の場も自分の力が試される場です。責任が大きい仕事である分、他では決して味わうことのできない経験と成長につながっていると実感します。

人間科学

法務省

人の可能性を信じ、 社会の安全と希望を支える

鈴木 比香乃

法務省矯正局総務課矯正改革推進PT
係長

2018年採用

記憶に残っている業務

入省から3年目までは、少年鑑別所という場所で、非行に至った少年の問題を見立て、今後の処遇に関する意見（少年院に送るかどうか等）を示す業務に従事していました。

心理の専門職として彼らを理解し寄り添いたいという思いと、社会の安心・安全のために客観的に問題を指摘しなければならぬという責務との間で葛藤を感じることも多々ありました。しかし、その苦悩の中で導き出した見立てが、その後の支援等に活かされているというフィードバックを受けた時には、本業務の意義とやりがいを強く実感しました。

仕事の面白み、やりがい

一対一の個別支援や施策の効果検証、組織風土改革など、対象やアプローチの仕方は違えども、人が変わる可能性を信じて必要な働きかけを考える点は共通しており、人間科学の知見を活かしながら多面的に人の変化に携われるところにやりがいを感じています。



テレワークあり

もっと
詳しく読む

デジタル

文部科学省

未来を科学技術で照らすために、 一日ずつ積み上げていく

三浦 崇寛

文部科学省科学技術・学術政策局
研究開発戦略課

2024年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

大学では科学計量学を専攻し、学術情報から研究力を表現する手法を開発していました。科学技術がもたらす影響の時間軸は多様で、今日の政策の効果が見えるのは数年・数十年先になることもあります。一方で、行政の説明責任として、様々な関係者にその狙いを伝えなければいけません。その際に、相手に寄り添ったデータを作り、議論を深めるために役立っています。

仕事の面白み、やりがい

まだ誰も見たことがない世界を現場と共に創り上げるところです。極端に言えば、現状の延長の先にも未来はありますが、次世代が育ち、まだ見ぬ科学技術が次々と生まれる世界は、もっと面白いことに溢れているはずです。そのために、公の目線からできることを一歩ずつ積み上げていけるとこの仕事の面白さだと思います。



テレワークあり

もっと
詳しく読む

工学

特許庁

「知」に寄り添いイノベーションを支える

大橋 俊之

特許庁審査第二部熱機器
審査官

2017年採用

記憶に残っている業務

新しい技術分野を担当した時のことが記憶に残っています。その技術に関する知識がない中で文献調査や関連資料の読み込みを重ね、未知で複雑だった技術が自分の中で一つにつながった時の達成感は大きかったです。知的好奇心が刺激され、自身の成長も感じることができ、この仕事のやりがいを実感しました。

仕事の面白み、やりがい

特許審査官の仕事の特徴は、最先端技術に日々触られることです。同じ技術分野でも発明は多岐にわたり、常に新しい技術に触れ、知識を吸収しながら、産業の発達に寄与できる点は大きなやりがいだと思います。それぞれの発明の価値を見極め、適切に審査することで、イノベーションの推進に関われることは大きな魅力です。



テレワークあり

もっと
詳しく読む



数理科学・物理・地球科学

気象庁

安心して利用できる予報を 社会へ

三木 あかり

気象庁情報基盤部情報利用推進課
第一民間気象業務推進係長

2021年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生の頃は地球惑星科学を専攻しており、気象、海洋、地震、火山、数値予報モデルなどの基礎を幅広く学びました。予報業務の許可の審査において、民間気象事業者の申請書類の内容を理解するうえで、これらの基礎知識が役立っています。

記憶に残っている業務

防災企画室での災害対応です。大雨や地震などの災害時には、政府や自治体に対策本部が設置され、気象庁は発生事象の説明や防災対応に資する情報提供を行います。防災企画室では関係省庁との連絡窓口として、国の防災業務の一端に携わることができ、気象庁が社会に求められる役割を強く実感しました。



テレワークあり

もっと
詳しく読む



化学・生物・薬学

環境省

豊かな自然環境を守り 未来へ届ける

佐藤 千佳

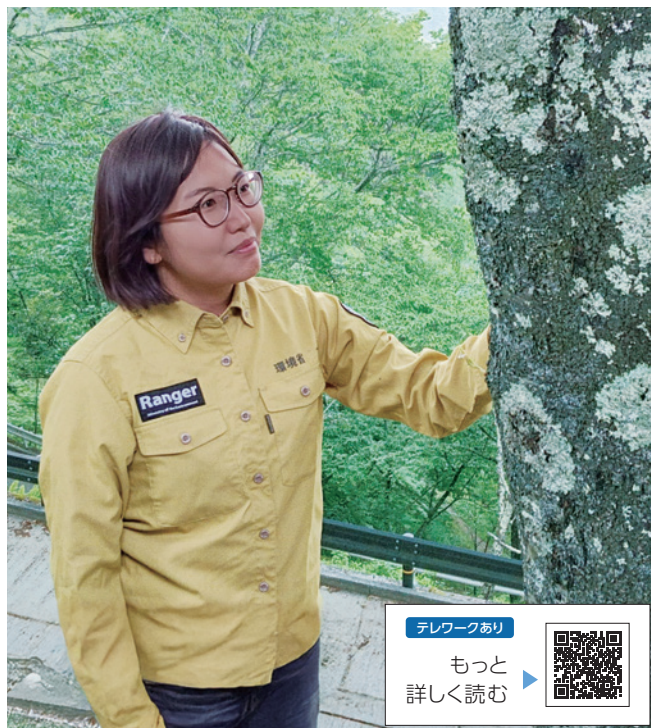
環境省近畿環境局
吉野熊野国立公園管理事務所
吉野管理官事務所国立公園管理官
2022年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代はミミズをはじめとした土壌生物の多様性について研究していました。目に見える自然だけでなく、地域に暮らす生き物の種多様性や遺伝的多様性など「目に見えない豊かさも含めた保全」という視点をもって業務に取り組むことができています。

仕事の面白み、やりがい

長い歴史の中で守られてきたその地の自然環境について、地域との対話、自然環境との対話を通じて自分たちに何ができるのか模索する作業が魅力です。試行錯誤しながら少しでも前に進めていくというプロセスを通じて、自分たちの成すことが地域と自然環境の未来を守ることにつながるのを実感することができ、やりがいを感じます。



農業科学・水産

厚生労働省

働く人の安全と健康を守る

青木 那奈

厚生労働省労働基準局安全衛生部
労働衛生課 業務第二係長
2019年採用

記憶に残っている業務

北海道労働局及び札幌東労働基準監督署に出向し、労働安全衛生行政の現場の最前線を経験したことです。本省で作った制度が現場でどのように使われているかを目の当たりにし、課題も感じられたことから制度設計にはあらゆる視点からの検討が必要だと思い、とても勉強になりました。

仕事の面白み、やりがい

高齢化やデジタル技術の普及等によって、労働環境が大きく変化していく中、数多くの複雑困難な課題が出てきます。その課題の解決に向けた国の最前線の動きに、主体的に関わることができるのが国家公務員の仕事の面白み、やりがいだと感じます。



農業農村工学

農林水産省

田んぼ1枚から 国の食料安全保障まで

山崎 裕介

農林水産省農産局穀物課豆類班
課長補佐
2013年採用

日々の仕事

大豆等の生産を増やすための制度づくりを担当しています。例えば、麦や大豆は自給率が低く輸入に頼る作物であるため、国産割合を増やすことを目的に、生産性を向上させるための支援制度の検討を行っています。その際、麦や大豆は全国で幅広く生産されており、労働時間が短く農業者が減少する中で農地を維持するのにも重要であることから、全国の幅広い農業者等との意見交換を行っています。

仕事の面白み、やりがい

田んぼで農家と米の出来を話していたかと思えば、2年後には海外で日本米の販促を企画します。さらに、大豆の生産振興の制度検討の際には、田んぼ1枚の収入と国全体の食料安全保障の両方を考える仕事でもあります。農家現場から海外、食料安全保障まで関われる幅広さにやりがいを感じます。



テレワークあり

もっと
詳しく読む ▶



森林・自然環境

国土交通省

土砂災害から「いのち」・「暮らし」・ 「なりわい」を守る

土田 海斗

国土交通省水管理・国土保全局
砂防部砂防計画課
企画係長
2020年採用

学生時代の専攻と現在の仕事との関係

学生時代は砂防を専攻し、演習林内の斜面で土にまみれながら、樹木の根系が斜面崩壊に与える影響について研究していました。学生時代に研究を通じて培った、現象を的確に捉える観察力と分析力は、現在の政策立案の基礎となっており、フィールドワークの経験は、現場の理解に役立っています。

仕事の面白み、やりがい

災害から人命や暮らしを守る仕組みを、自らの手で形にできる点にやりがいがあります。土砂災害対策は日本にとどまらず世界で求められており、国を越えて社会に貢献できている実感が大きな魅力です。



もっと
詳しく読む ▶



総合職試験府省等別・試験の区分別採用状況

(令和8年4月1日現在)

府省等	試験の区分	院卒者試験									大卒程度試験												合計	
		行政	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	法務	政治・国際・人文	法律	経済	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境		教養
会計検査院											2 (1)	2 (1)				1							5 (2)	
人事院	1										1 (1)						1					2 (1)	5 (2)	
内閣府	5 (3)				1						1 (1)	5 (2)	1	1 (1)								7 (1)	21 (8)	
デジタル庁	2 (1)					1 (1)					1	1			1							1 (1)	7 (3)	
公正取引委員会	1											4 (3)	1 (1)									2 (1)	8 (5)	
警察庁		1 (1)	2 (2)	1		4 (3)						5 (2)			1	3 (1)						15 (4)	32 (13)	
個人情報保護委員会												1											1	
金融庁						1				1 (1)	1	3 (3)	1 (1)									5 (1)	12 (6)	
消費者庁	2	1 (1)										1										1	5 (1)	
こども家庭庁	1	2 (2)												1 (1)									4 (3)	
総務省	7 (4)			2 (1)	2	1			1 (1)		4 (2)	2 (1)	1		4 (1)			1	1 (1)			36 (15)	62 (26)	
消防庁						2 (1)												1 (1)					3 (2)	
法務省	1	12 (9)									3 (1)	9 (5)		6 (6)	1							2 (2)	34 (23)	
出入国在留管理庁		1 (1)									6 (4)	1	1 (1)									1	10 (6)	
公安調査庁	2 (2)										2	1										1 (1)	6 (3)	
外務省											9 (5)	2	1 (1)									25 (10)	37 (16)	
財務省	4 (3)						1 (1)				4 (1)	5 (2)	4 (1)			1						23 (10)	42 (18)	
国税庁	1			1 (1)		2 (1)	2 (1)				3 (1)		1									7 (4)	17 (8)	
文部科学省	4 (3)		1	2 (1)	1	3	2 (1)		1 (1)	1	1 (1)	1		2 (2)		1 (1)		1 (1)	1 (1)			14 (4)	36 (16)	
厚生労働省	10 (6)	5 (3)	1		4	10 (5)	1		1		8 (7)	5 (3)	2	3 (2)	2		2		2 (2)			15 (5)	71 (33)	
農林水産省	2 (1)			1	1	9 (5)	25 (9)	2	10 (4)			2 (2)	1			4 (1)		2	18 (7)	17 (5)	8 (6)	22 (9)	124 (49)	
経済産業省	4 (2)			5 (3)		4 (2)				1 (1)	3 (1)	2 (1)	2			1 (1)	1	1			1	33 (8)	58 (19)	
特許庁			5 (2)	11 (1)	2 (1)	13 (7)	3 (1)								4 (2)	5 (3)	2 (1)	12 (6)	6 (3)	1 (1)			64 (28)	
国土交通省	3			19 (3)	3	1	1	2	3 (1)		8 (2)	2 (1)	2 (1)		1	57 (8)	4	2	1	2 (1)	4 (2)	19 (3)	134 (22)	
気象庁					6												3 (1)						9 (1)	
海上保安庁					1		1																2	
環境省	3 (3)			1		5 (1)	2 (1)		7 (2)		3 (1)	3 (1)	1 (1)			4 (2)		1	1 (1)		1 (1)	11 (4)	43 (18)	
原子力規制庁						1										2 (1)							3 (1)	
(独)造幣局													1										1	
(独)国立印刷局						1										1							2	
防衛省	2 (2)			5 (1)	1	2 (1)			2 (1)		7 (2)	2 (2)				2						9 (3)	32 (12)	
防衛装備庁				9 (1)	2	3 (2)										8 (1)		2					24 (4)	
参議院法制局										1													1	
合 計		55 (30)	22 (17)	9 (4)	57 (12)	24 (1)	63 (29)	38 (14)	4	25 (10)	4 (2)	67 (31)	59 (29)	20 (7)	13 (12)	14 (3)	90 (19)	12 (2)	24 (8)	30 (15)	20 (7)	14 (9)	251 (87)	915 (348)

(注1) 2025年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和8年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む。)

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和10年4月の採用予定数は、令和9年1月下旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。
その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。
なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

女性の登用状況などの
情報は、女性活躍推進法
「見える化」サイト等で
ご覧いただけます。



法律

財務省

長尾 すみれ

財務省
主税局調査課外国調査第一係
2025年採用



日々の仕事

フランスの税制の調査業務を担当しています。日本の税制の企画立案において、諸外国から学ぶことは多くあります。日本の税制をよりよくするための議論の一助として責任をもって調査業務にあたっています。また、国際機関と税制についての情報交換を行うべく、統計や調査票に回答したり、会合に出席したりしています。

標準的な1日

繁忙期1日

- 9:30 登庁**
まずはメールを確認します。
- 10:00 フランス税制調査**
フランスの税制改正について大きな報道があったため、概要メモを作成します。
- 12:00 昼食**
お弁当の日が多いですが、今日は係のみなさんと日比谷で外食しました。
- 13:00 講演会視聴**
先輩職員による業務紹介の講演会を視聴します。
- 14:00 統計データ作成**
OECDに提出する税務統計データを作成します。
- 17:00 海外大使館向け資料作成**
上司や他課と相談しながら日本の税制改正について英語の資料を作成します。
- 18:15 退庁**
急ぎの案件が無いことを確認して退庁します。
- 19:15 帰宅**
同期や友人と飲みに行ったり、予定がない日は自宅で夕食を作ったりして過ごします。就寝前は読書することが多いです。

- 9:00 登庁**
メールを確認し、今日やるべきことを整理します。
- 10:00 諸外国の統計データ整理**
諸外国の税収に関する最新のデータが出たため、今後の資料化に向けエクセルに内容をまとめます。
- 12:00 昼食**
お弁当を食べます。
- 13:00 在仏大使館職員との打ち合わせ**
フランス当局の職員との面会について、意見交換をします。
- 15:00 幹部への説明**
係で作成した諸外国の税制に関する資料について、幹部に説明に上がります。
- 16:30 国会対応**
議員から資料の要求があったため、上司の指示に従いながら提出資料を準備しました。
- 18:30 資料作成**
締切が迫っているため、作業を進めます。フランスの税制改正の内容を法律等の出典に即して反映します。
- 20:00 退庁**
自宅近所のスーパーで買い物を済ませます。
- 21:30 帰宅**
いつもより帰宅が遅かったため、夕食は簡単に済ませました。仕事が多かった日は長めにお風呂につかります。



工学

特許庁

牧平 康也

特許庁審査第一部
ユーザーエクスペリエンス
審査官補
2024年採用



日々の仕事

出願された特許について、過去の文献に似た技術が無いか調査したり、発明の権利範囲が明確かを精査したりしながら、出願内容を特許法と照らして審査を行っています。また、時には審査対象の技術を学ぶために学会や展示会に行ったり、関係企業と技術動向や知財活用に関する意見交換を行ったりもしています。

標準的な1日

繁忙期1日



9:00 登庁

手持ち案件の提出期限を確認し、今日取り組む案件を選定します。

9:30 本願理解

出願された特許出願（本願）がどのような発明で、何を権利範囲として主張しているのかを確認します。

10:30 サーチ

本願と同一又は類似の技術文献があるかどうかを探します。

12:00 昼食

普段は同期と集まってお弁当を食べています。

13:00 サーチ

サーチは特に時間がかかるため、午後も引き続き行います。

15:00 協議

案件の審査方針について、指導審査官や他の審査官と協議を行います。

16:00 起案

本願の審査結果を通知する文章を作成します。

17:45 退庁

起案の提出が完了したので退庁しました。

18:45 帰宅

予定がない日は基本的に自炊をしています。また、同期や友人と飲みに行ったり、趣味のピアノに没頭したりする日もあります。



9:00

9:00 登庁

予定やメールをチェックします。



10:00

9:30 移動

今日は審査に関連する技術分野への理解を深めるために、関連技術の展示会の見学に行きます。

11:00

10:00 見学

仮想現実に関する展示を見学し、審査に役立つ知識を学びます。



12:00

12:00 昼食

展示会の近くで昼食をとります。

13:00

14:00 移動

庁に戻って展示会の報告や審査の続きを行います。

15:00

14:30 報告書作成

展示会の内容について会議等で報告するための資料を作ります。

16:00

15:30 審査

手持ちの案件が期限ギリギリにならないよう、外勤や出張がある日も庁に戻ってからは審査を進めます。この日は展示会に行ってVRの現物に触れた直後だったので、VRに関する審査を行いました。

17:00

18:00

19:00

20:00

20:00 退庁

着手中の案件について、キリが良いところまで終わらせてから退庁しました。

21:00

21:00 帰宅

帰宅が遅かったため、自炊せずに買ってきた夕食を食べました。翌日はテレワークにして、睡眠時間を長めに確保しました。



22:00

研修と多様な勤務経験

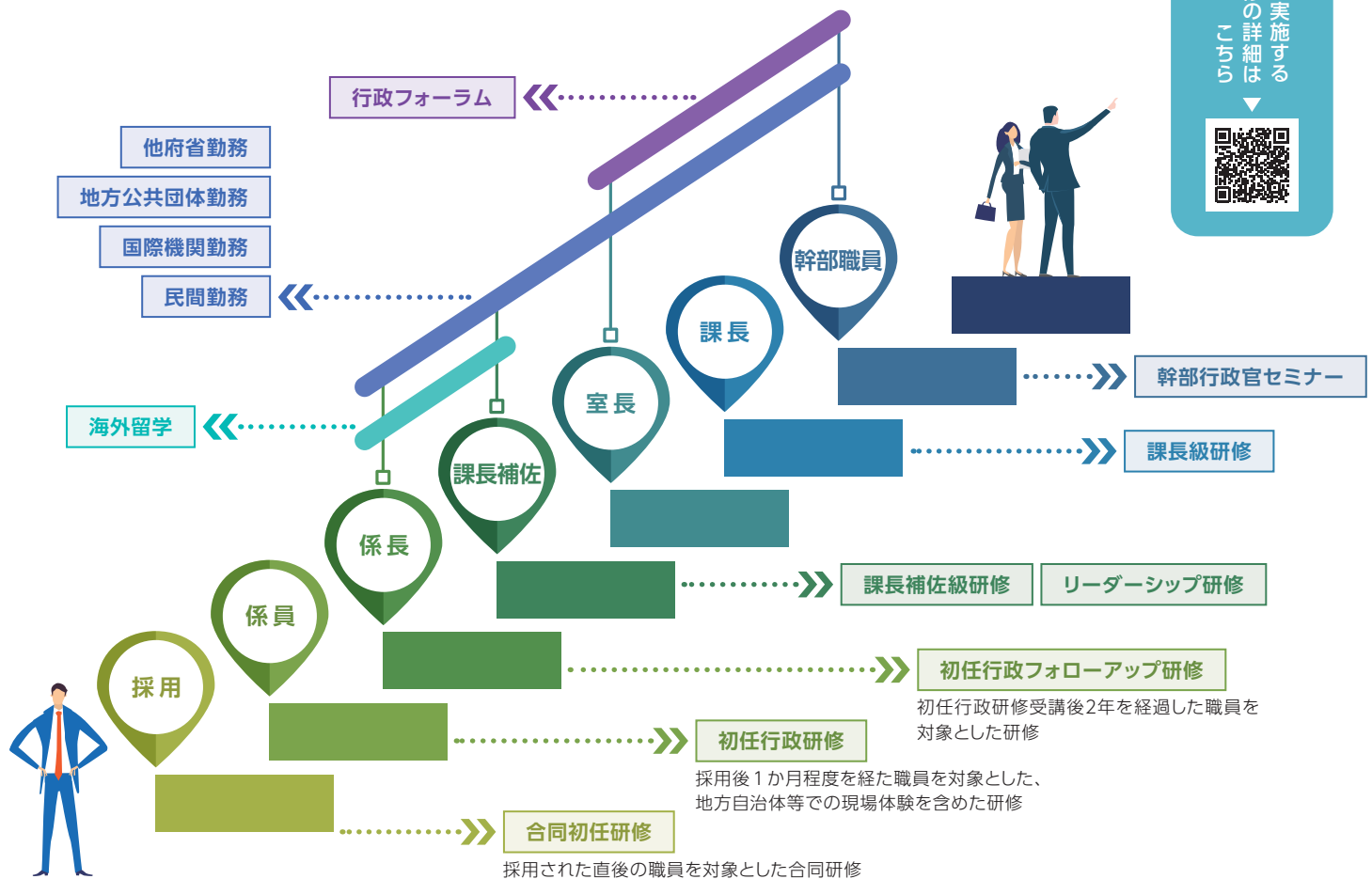
国家公務員には、研修をはじめとするさまざまな育成機会が設けられており、

本人の希望や適性も考慮のうえ、その機会が付与されます。

人事院では、各役職段階において求められる資質・能力を伸ばすことができるよう、採用時から幹部級まで、

さまざまな研修を実施しています。また、若手職員などに対するキャリア形成支援の取組も行っています。

さらに、留学や出向等を通じて多様な勤務経験を積むことができます。



研修REPORT

ケンブリッジ大学(経営学)、ロイヤルカレッジオブアート(サービスデザイン)

新たな環境、フラットな立場で 視野を広げる機会

経済産業省から出向

金子 健一郎

内閣府知的財産戦略推進事務局
参事官補佐

2016年採用



留学の志望理由、留学することで
何をしようとしたのか

業務の中で直面した課題を乗り越える手段として、留学を位置付けました。企業が投資等を行う意思決定をサポートしたり、多様なチームメンバーをリーダーとしてまとめるため、1年目は経営学を、現場や人に届き、本質的な課題解決につながる政策立案をできるようにするため、2年目はサービスデザインを専攻しました。

実際の業務に適用できるよう、アカデミックと実践のバランスが取れた学校を選択しました。

官民人事交流

あなたのキャリアに民間企業の経験を!!

国家公務員には、国の機関と民間企業との間の人事交流を通じて、人材の育成、組織運営の活性化等を図ることを目的とした「官民人事交流制度」があります。
国家公務員のまま民間企業等で働くことができます(制度ができた平成12年から令和7年末までの間に、延べ861人が民間企業等に交流派遣されています。)

交流派遣を経験した職員の成長実感!!

出身府省の
理解が深まる、
見え方が変わる

民間企業の
ノウハウ、業務手法を
体得できる

自ら考え、
行動する能力、
情報収集能力が
向上する

総合職採用職員の交流派遣先実例

ライオン株式会社
住友商事株式会社
トヨタ自動車株式会社

株式会社 I H I
株式会社三菱総合研究所
東日本旅客鉄道株式会社

他にも様々な民間企業等へ交流派遣されています。

「交流派遣経験者のショート動画」
はこちらから!



国内外の大学院への派遣

行政の国際化の進展、複雑・高度化に対応し得る人材を育成するため、人事院や各府省による国内外の大学院への派遣制度が設けられています。

▶ 行政官長期在外研究員制度

人事院の選抜審査及び大学院の選考に合格した若手職員が、外国の大学院(修士課程又は博士課程)に留学できる制度です。

令和7年度の国(地域)別留学人数(名)

アメリカ	イギリス	フランス	オーストラリア	オランダ	ドイツ	シンガポール	カナダ	台湾
72	50	5	4	4	2	1	1	1

今までの主な留学先大学

アメリカ	マサチューセッツ工科大学、プリンストン大学、ハーバード大学、スタンフォード大学、コロムビア大学など
イギリス	オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、ロンドン大学(UCL、LSE)、エディンバラ大学など
フランス	ボルドー大学、トゥールーズ大学、パリ政治学院、リール大学など
ドイツ	ミュンヘン工科大学、ハイデルベルグ大学、フンボルト大学、フライブルク大学など

令和7年度の
新規留学人数

140名

※総合職・一般職などを含めた留学人数の合計

▶ 行政官国内研究員制度

人事院の選抜審査及び大学院の選考に合格した職員が、国内の大学院(修士課程又は博士課程)で研究できる制度です。

主な派遣先大学

筑波大学大学院、政策研究大学院大学、東京大学大学院、一橋大学大学院など

※令和8年度の新規派遣人数19名

留学の魅力、留学を通して得たこと、
海外から見た日本はどうだったかなど

授業やプロジェクトでファイナンスやデザイン等について学んだ経験に加えて、英語が元々得意でもなく、組織の肩書も役立たない状況で、自分がどう価値を発揮できるのかを考え抜く経験が貴重でした。

その中で、日本人の持つ責任感や計画性は様々な場で役立つ強みであると実感した一方、チームをまとめる強い推進力や、ためらわず教授を巻き込むフットワークの軽さなど、他国の同級生から見習う姿勢も多々ありました。

帰国後、どのように留学経験を
活かしているか又は今後活かせるか

現在担当しているコンテンツ振興の業務では、経営学で学んだ財務・会計の知識や、サービスデザインで学んだ多様な利害関係者を巻き込みながら政策を作る考え方が役立っています。

今後も、留学で得たロジカルな視点と現場に政策を届けるデザインの視点を組み合わせつつ、加えて英語でのリサーチ・コミュニケーション力や、現地で得たネットワーク等も政策立案に活用していきたいと思います。





育児等に関する 両立支援制度

両立支援制度のほか
フレックスタイム制やテレワークを活用するなど
柔軟な働き方ができます

出生サポート休暇

(第二子以降でも使用可能)



不妊治療で通院等をする場合

年5日(体外受精・顕微授精に係る通院等の場合は更に5日)

産前・産後休暇



出産する場合

産前6週間、産後8週間
(多胎妊娠の場合は産前14週間)

保育時間



生後1年未満の子を保育する場合

1日2回それぞれ30分以内で勤務しないことが可能

育児休業



3歳未満の子を養育する場合

配偶者の就業等の状況にかかわらず、原則2回まで

育児短時間勤務



小学校就学前の子を養育する場合

短い勤務時間
(3時間55分×5日等数パターン)での勤務が可能

育児時間



小学校就学前の子を養育する場合

1日2時間又は1年につき10日相当の時間まで勤務しないことが可能

子の看護等休暇



小学校3年生までの子を看護等する場合

年5日(対象となる子が2人以上の場合は年10日)

配偶者同行休業



外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にする場合

3年を超えない範囲内

その他の制度

妊娠中の通勤緩和のための職務専念義務免除

妊娠中の休息、補食のための職務専念義務免除

配偶者出産休暇

育児参加のための休暇

休憩時間の短縮・延長

妊産婦の健康診査及び保健指導のための職務専念義務免除

妊産婦の業務軽減等

介護休暇

介護時間

短期介護休暇

超過勤務の免除

深夜勤務、超過勤務制限

早出遅出勤務

その他制度の詳細はこちら ▶



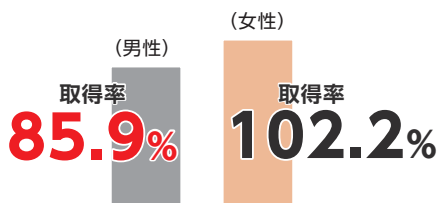
フレックスタイム制

勤務時間数の総量はそのままで、土日のほかに週1日勤務しない日を設定することも可能!

テレワーク

テレワークの円滑な運用を推進する観点からガイドラインを策定!

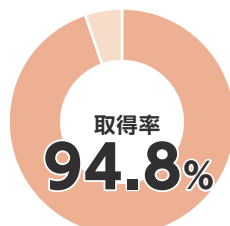
出産・育児に係る休暇、育児休業制度の取得率



育児休業

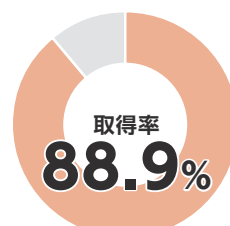
※令和6年度に令和6年度以前に生まれた子についての最初の育児休業を取得した常勤の一般職国家公務員の割合^(注)

(注) 令和6年度中に子が生まれた職員に対する割合であり、100%を超えることがある



配偶者出産休暇

※令和6年度に子が生まれた男性の常勤職員のうち、令和6年度に配偶者出産休暇を使用した職員の割合



育児参加のための休暇

※令和6年度に子が生まれた男性の常勤職員のうち、令和6年度に育児参加のための休暇を使用した職員の割合

新納 真梨恵

総務省情報流通行政局放送施設整備促進課
課長補佐

2012年採用



こどもの笑顔を仕事の原動力に 仕事も育児も諦めない働き方を目指して

利用した制度や 働き方改革をした点

保育園児と小学生のこどもが二人おり、テレワークや早出出勤などを活用しながら夫と協力して両立に奮闘しています。お迎え担当日は定時退庁してこどもとの時間を過ごし、それ以外の日は思いっきり働くことで、曜日ごとにメリハリをつけて生活しています。夫が転勤の際には、私も同時に地方赴任させていただくことで、キャリアを中断することなく仕事を続けることができました。

日々の仕事

山間部等の難視聴地域において、災害時等の重要な情報入手手段であるテレビを視聴継続できるよう、老朽化が進むテレビの共同受信施設に対する補助事業を実施しています。自治体や地域住民、放送事業者等の声を聞きながら、今後のテレビ視聴環境のあり方について検討し、支援制度を企画・立案・運営するのが仕事です。日本全国への出張や国会対応も多く、課題の現場に触れ、様々な立場の方と関わるところが魅力です。

制度の活用や働き方改革により 変化したこと

時間に制約がある中、優先順位付けと効率性を強く意識するようになりました。また、自分が急に仕事を休まなくてはならない事態に備え、自分の仕事の進捗等についてチームに共有することも意識しています。日々非常に慌ただしく、決してワークライフバランスを誇れる毎日ではありませんが、こどもたちの未来をより良いものにしたいという想いを仕事の原動力に変えて、これからも走り続けたいです。

ある一週間のスケジュール

月(9:00~17:45)	新たな制度設計に向けチームで打合せ。資料作成のため残業
火(9:00~17:45)	事業者等からヒアリング。保育園お迎えのため定時退庁 こども就寝後、情報分析のため残業
水(9:00~17:45)	テレワーク、年休をとり午後から学校保護者会へ参加、終了後は再びテレワーク、 オンラインミーティング等を実施
木(9:00~17:45)	自治体からの要望対応。明日の国会説明資料作成等のため残業
金(9:00~17:45)	朝から国会対応。保育園お迎えのため定時退庁、こどもを習い事へ送迎 帰宅後、翌週に向け残務を整理

※早出出勤、テレワークを活用

配偶者からのメッセージ

協力して子育てをしながら、時には仕事の悩みも共有し合う、同志のような存在です。仕事の日と子育ての日、切り替えながらワークもライフもどちらも全力で頑張る妻を見て、私も刺激をもらっています。こどもの笑顔に癒されながら、これからもダブル大黒柱として頑張っていきたいと思います！



総合職試験の概要

総合職試験は、政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員の採用試験です。

■ 院卒者試験

▶ 試験の区分

行政・人間科学、デジタル、工学、数理科学・物理・地球科学、
化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境

▶ 受験資格

30歳未満で大学院修士課程等修了又は
大学院修士課程等修了見込みの者^(注1)

▶ 試験種目

第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式)、専門試験(多肢選択式)
第2次試験	専門試験(記述式)、政策課題討議試験、人物試験、英語試験 ^(注2)

■ 大卒程度試験

▶ 試験の区分

政治・国際・人文、法律、経済、人間科学、デジタル、工学、
数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、
農業農村工学、森林・自然環境、教養(春と秋に試験を実施)

▶ 受験資格

21歳以上30歳未満の者
(教養区分は19歳以上30歳未満の者が受験可)^(注1)

▶ 試験種目

試験	教養区分以外の区分	教養区分
第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式)、専門試験(多肢選択式)	基礎能力試験(多肢選択式)、総合論文試験
第2次試験	専門試験(記述式)、政策論文試験、人物試験、英語試験 ^(注2)	企画提案試験、政策課題討議試験、人物試験、英語試験 ^(注2)

(注1) 年齢は、その試験の名称に掲げる年度の4月1日現在における年齢です。

21歳未満の者で大学を卒業した者及び卒業見込みの者並びに人事院がこれらの者と同等の資格があると認める者も受験することができます。

(注2) 英語試験(外部英語試験の活用): 活用する英語試験は、TOEFL(iBT)、TOEIC(L&R)、IELTS、実用英語技能検定(英検)の4種類で、最終合格者決定の際に、スコア等に応じて、総得点に15点又は25点を加算します。

	TOEFL(iBT)		TOEIC(L&R)	IELTS	英検
	新方式	旧方式			
15点加算	3.5以上	65以上	600以上	5.5以上	—
25点加算	4.0以上	80以上	730以上	6.5以上	準1級以上

実際に出題された問題(過去問)をご覧になりたい方、詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」の「試験情報」をご覧ください。

詳しくはこちら ▶



2027年の総合職試験における主な変更点

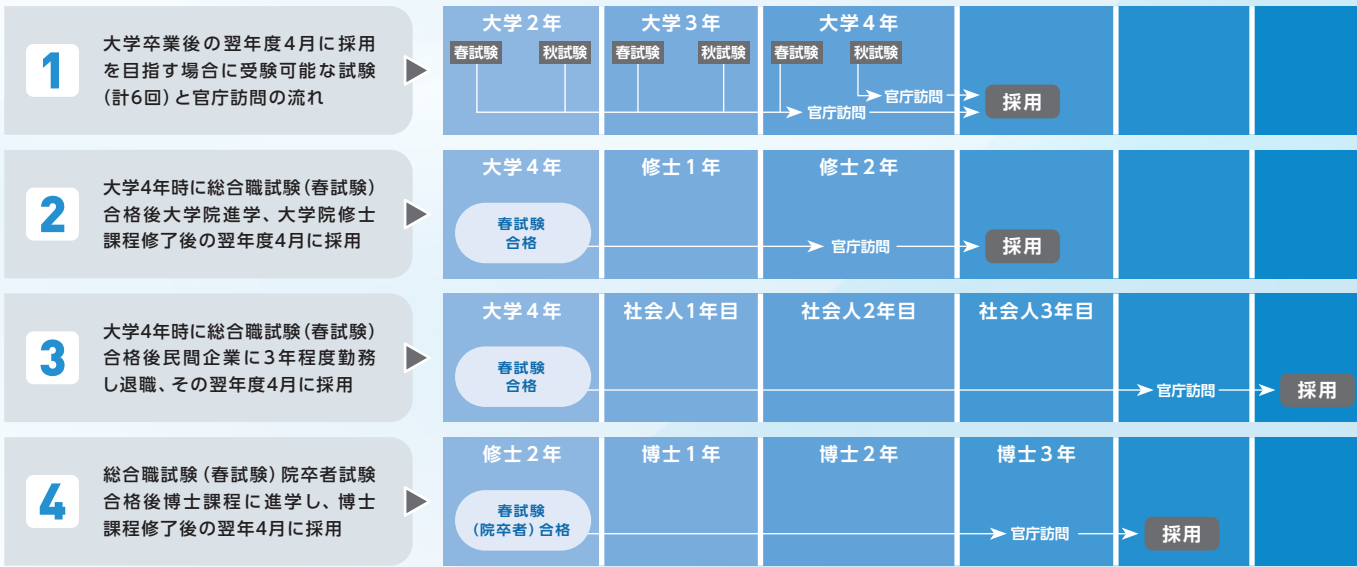
■ 総合職試験（春）の試験日程を前倒し

- 春に実施される総合職試験について、一般職試験等の日程前倒しに伴い、これらの試験と日程が重複しないよう、試験日程の前倒しを行う。
- 第1次試験日は2月28日（日）、最終合格者発表日は5月下旬

詳しくはこちら ▶



試験から採用までの流れ



1.「合格」＝「採用」ではありません。

総合職試験に合格すると採用候補者名簿に記載されます。試験合格後には、志望する府省の採用選考を受け（官庁訪問）、名簿の有効期間中に採用される必要があります。

2.各種試験と採用時期の組み合わせ

総合職試験には、実施時期に応じて、春試験と秋試験（大卒程度「教養区分」のみ実施）の2種類があります。また、採用候補者名簿の有効期間は、2023年度の試験より、最終合格発表日から5年間^{（注）}です。例えば、大学4年生で総合職春試験に合格し、大学院の修士課程を修了した方又は民間企業などで3年程度勤務した方でも、再度試験を受験することなく、各府省の官庁訪問を経て採用されることが可能です。

（注）大卒程度「教養区分」の採用候補者名簿の有効期間は、2023年度から2025年度までの試験合格者については6年半、2026年度以降の試験合格者については7年です。

■ デジタル分野の専門性を持つ皆さんへ

情報通信技術を活用するデジタル社会の実現に向けて、情報系の専門的な素養を持つ人材が必要となっています。公務の中で情報系の知識を持って、政策の企画立案に参画等する人材を募集しています。総合職試験、一般職試験の中にはデジタルに特化した区分があるほか、特定の資格を有していれば試験以外の方法でも採用される機会があります。

詳しくはこちら ▶



官庁訪問

- 国家公務員採用試験の最終合格＝採用ではありません。志望する府省に採用されるためには必ず官庁訪問に参加し、志望府省から内々定・内定を得る必要があります。
- 官庁訪問は、国家公務員採用試験合格者が志望する府省を訪問し、採用選考を受けるものです。



Aさん

官庁訪問は
マッチングの場

官庁訪問は、職員と一対一で話すことができる貴重な機会だと思います。官庁と一緒に働きたい人を見つける場でもあり、志望者が働きたい場所を選ぶ機会、つまり、自分にその職場が合うか合わないか判断する場でもあると思います。いわば「マッチング」だと思って、肩の力を抜いて職員との会話を楽しむ気持ちで臨むと有意義だと思います。

官庁訪問で
これから官庁

アドバ

お願い

Bさん

ニュースが
話題の引き出しに



自分の実現したいことや興味分野を明確にしておき、職員との会話の中で、自分なりの想いを伝えられるようにしました。また、これまで業務説明会に参加した際のメモや採用パンフレットを見直し、興味関心分野の政策については話を振られても議論できるよう、予習しておいたのが功を奏しました。日ごろから新聞やニュースにアンテナを張ってネタ集めをすると、質問の幅が広がるのでおすすめです！

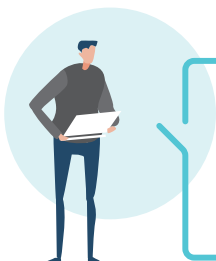
Cさん

事前準備は
情報収集から



官庁訪問ルールについては、人事院のHPに載っていた情報をよく読んで、事前にどのように回るかスケジュールを組んで対策を練りました。官庁訪問ルール以外にも、同じHPに載っている「官庁訪問に関するQ&A」がわかりやすく参考になりました。

体験談



Dさん

自分の軸を持って
想いを伝える

官庁訪問は慣れない空間で、短い期間に非常に多くの人と会うこととなります。その中では、たくさんのことを聞かれ、また、質問することになると思います。私自身のことを思い返すと、つまるところ、なぜ国家公務員を目指したか、どのようなことがしたいのかなど、自分の根拠となる部分をしっかりと持っていれば、問題なく対応できたと思います。是非、これからの就活などを通して多くを経験する中でこの部分を磨いていただければと思います。

- 官庁訪問の際には、各府省の職員からの業務説明（原課訪問）が行われる場合もあり、志望府省に関する知識を深め、自身の希望とマッチするか判断する重要な機会となります。
- 複数の府省を訪問できますので、志望府省を積極的に訪問しましょう。

心掛けたこと、
訪問する人へ
イスを
します。

若手職員 ▶

面接に向けて、一言一句完璧な文章の答えを用意する必要はないと思います。自分という人間がどのような価値観を大事にしているのか、どういう社会を実現したいのかを深くまで掘り下げて言語化してみるのがよいと思います。

Eさん

**完璧な回答より、
自分の言葉で伝える**



Gさん

**経験と仕事を
結び付けて話そう**



官庁訪問では、所管するどの施策（仕事）に興味を持ったのか、何をしたいと思っているのかを、学生時に経験し、学んだことと結び付けながら話すことを心掛けました。

Fさん

**自分らしく
話すことが大切**



入庁後のギャップを少なくするためにも、官庁訪問では背伸びをするのではなく、自然体で職員と話すことが重要だと思います。なぜ国家公務員になりたいのかという点を事前にクリアしておきつつ、当日はぜひ自分らしく臨んでください。

Hさん

**質問の意図を
理解して答える**



聞かれた内容の意図をしっかり理解し、相手が求めていることに対して端的に答えるよう心掛けました。また、自分の言葉で無理なく伝えることも大切だと感じました。リラックスして落ち着いて臨みましょう！

詳しくはこちら ▶



官庁訪問のルールやスケジュール等の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「採用情報」をご覧ください。

2026年度総合職試験実施状況（院卒者試験）

（単位：人、倍）

試験の区分	申込者数 (a)	第1次試験		第2次試験 受験者数	最終合格者数 (c)	倍率	
		受験者数(b)	合格者数			a/c	b/c
行政	282 (91)	219 (81)	200 (71)	172 (59)	160 (56)	1.8	1.4
人間科学	112 (77)	98 (68)	86 (62)	70 (49)	61 (41)	1.8	1.6
デジタル	48 (10)	36 (9)	34 (9)	28 (8)	23 (7)	2.1	1.6
工学	239 (31)	174 (24)	163 (24)	131 (23)	114 (20)	2.1	1.5
数理科学・物理・地球科学	125 (26)	98 (22)	94 (22)	77 (18)	57 (9)	2.2	1.7
化学・生物・薬学	272 (116)	209 (92)	185 (75)	150 (64)	115 (48)	2.4	1.8
農業科学・水産	104 (30)	90 (25)	85 (22)	67 (19)	64 (18)	1.6	1.4
農業農村工学	10 (3)	9 (3)	8 (3)	7 (3)	7 (3)	1.4	1.3
森林・自然環境	83 (36)	62 (31)	60 (29)	52 (24)	49 (24)	1.7	1.3
合 計	1,275 (420)	995 (355)	915 (317)	754 (267)	650 (226)	2.0	1.5

（注1）（ ）内の数字は女性を内数で示す。

（注2）受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験種目を受験した人数である。

2026年度総合職試験実施状況（大卒程度試験）

（単位：人、倍）

試験の区分	申込者数 (a)	第1次試験		第2次試験 受験者数	最終合格者数 (c)	倍率	
		受験者数(b)	合格者数			a/c	b/c
政治・国際・人文	1,006 (512)	825 (440)	350 (150)	288 (125)	186 (85)	5.4	4.4
法律	4,440 (2,259)	3,782 (1,955)	457 (176)	339 (122)	214 (81)	20.7	17.7
経済	785 (307)	659 (268)	168 (49)	141 (42)	85 (24)	9.2	7.8
人間科学	214 (144)	181 (124)	83 (57)	68 (45)	44 (30)	4.9	4.1
デジタル	123 (29)	92 (21)	70 (16)	57 (14)	36 (10)	3.4	2.6
工学	624 (141)	496 (115)	421 (96)	329 (73)	263 (54)	2.4	1.9
数理科学・物理・地球科学	111 (29)	85 (21)	59 (10)	49 (9)	30 (6)	3.7	2.8
化学・生物・薬学	228 (120)	186 (97)	86 (35)	75 (32)	52 (23)	4.4	3.6
農業科学・水産	286 (151)	250 (135)	218 (116)	159 (81)	134 (68)	2.1	1.9
農業農村工学	117 (40)	96 (34)	80 (30)	69 (25)	57 (23)	2.1	1.7
森林・自然環境	144 (65)	118 (52)	96 (42)	73 (32)	57 (23)	2.5	2.1
教養（春）	3,133 (1,302)	2,175 (913)	408 (105)	372 (94)	213 (69)	14.7	10.2
合 計	11,211 (5,099)	8,945 (4,175)	2,496 (882)	2,019 (694)	1,371 (496)	8.2	6.5

（注1）（ ）内の数字は女性を内数で示す。

（注2）受験者数は、第1次試験又は第2次試験のそれぞれ最後の試験種目を受験した人数である。

（注3）2026年度の春試験のみ（秋試験除く）

教養（秋）を含む試験の
実施状況はこちら



試験の内容等

院卒者試験

2026年度の場合

	試験種目	配点比率	解答時間	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	2/15	2時間 20分	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験 (多肢選択式)	3/15	3時間 30分	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
第2次試験	専門試験 (記述式)	5/15	3時間	
	政策課題 討議試験	2/15	概ね 1時間 30分	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験
	人物試験	3/15		人柄、対人的能力などについての個別面接

大卒程度試験

※教養区分以外

2026年度の場合

	試験種目	配点比率	解答時間	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	2/15	2時間 20分	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
	専門試験 (多肢選択式)	3/15	3時間 30分	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験
第2次試験	専門試験 (記述式)	5/15	3時間	
	政策論文試験	2/15	2時間	政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験
	人物試験	3/15		人柄、対人的能力などについての個別面接

大卒程度試験

※教養区分

2026年度の場合

	試験種目	配点比率	解答時間	内 容
第1次試験	総合論文試験	6/24	2時間 30分	幅広い教養や専門的知識を土台とした総合的な判断力、思考力についての筆記試験
	基礎能力試験 (多肢選択式)	I部 2.5/24 II部 1.5/24	3時間 20分	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験
第2次試験	企画提案試験 (プレゼンシート作成、 プレゼン・質疑応答)	6/24	概ね 2時間	企画力、建設的な思考力及び説明力などについての試験
	政策課題 討議試験	4/24	概ね 1時間 30分	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験
	人物試験	4/24		人柄、対人的能力などについての個別面接

勤務時間

- **基本形** 1日7時間45分(8:30~17:15)
土曜日、日曜日及び祝日等の休日は休み
→弾力的な勤務時間の制度があります。



早出遅出勤務の例

8:00 ~ 16:45 (7時間45分)

フレックスタイム制の例

土日の休みのほかに
週1日勤務しない日を作
ることも可能!

※総勤務時間数は維持

月曜日	8:00 ~ 18:30 (9時間30分)
火曜日	8:30 ~ 19:30 (10時間)
水曜日	8:45 ~ 19:30 (9時間45分)
木曜日	7:45 ~ 18:15 (9時間30分)
金曜日	休み

テレワーク

本府省職員の**46%以上**が活用!※

*このほか、24時間の公務遂行が必要な部署の職員(例:航空管制官、刑務官、海上保安官など)は、交替制での勤務(シフト制)も行っています。

※令和5年度 国家公務員の働き方改革職員アンケート結果

休暇

■ 休暇の種類



年次休暇

- 一の年(1/1~12/31)において20日(翌年に20日まで繰越可)
- 最小15分単位で取得可能

令和6年実績 全体(16.3日)、本府省(14.4日)、
本府省以外(16.7日)、民間(12.1日)

人事院「令和7年国家公務員給与等実態調査」 厚生労働省「令和7年就労条件総合調査」

特別休暇

- 公民権行使 ●官公署出頭 ●ドナー
- ボランティア ●結婚 ●出産
- 育児・介護関連 ●忌引 ●夏季
- 災害(出勤困難など)

病気休暇

- 原則90日まで

介護休暇

- 通算6月まで(3回まで分割可)

詳しくはこちら ▶



給与

(令和8年4月現在)

初任給	<院卒者試験採用> 317,520円 ^{※1} <大卒程度試験採用> 301,200円 ^{※1}
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、単身赴任手当、超過勤務手当など
昇給	原則年1回
賞与(ボーナス)	期末手当、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の4.65月分 ^{※2} (6月、12月に支給)
年間給与	<院卒者試験採用> 約520万円 ^{※1,3} <大卒程度試験採用> 約490万円 ^{※1,3}

※1 令和8年人事院勧告反映前の額です。本府省勤務の場合(院卒者:行政職俸給表(一)2級11号俸、大卒程度:行政職俸給表(一)2級1号俸)。本府省業務調整手当及び地域手当を含みます。

※2 令和8年人事院勧告反映前の平均の支給月数です。勤勉手当は勤務成績に応じて支給され、成績優秀者にはより多い支給月数分が支給されます。

※3 住居手当、通勤手当、超過勤務手当等を含まず、賞与(ボーナス)は成績区分が標準的なケースで1年間在職した場合です。

詳しくはこちら ▶



働き方改革の現状(働きやすさ)

働き方改革

67.2%

現在の職場は働きやすいと感じている職員の割合
内閣人事局「令和6年度 国家公務員の働き方改革職員アンケート」

兼業

■ 自営兼業制度の見直し

- 令和8年4月から、職員の自己実現や社会課題の解決につながるような自営兼業について、承認を可能としました。

従来

不動産等賃貸

太陽光電気販売

農業等 ※家業を継承した場合のみ



職員の有する知識・技能を
いかした事業

社会貢献に資する事業

令和8年4月から

事業イメージ

- ・ハンドメイド品の販売
- ・スポーツや芸術の教室 等

事業イメージ

- ・地域振興イベントの主催
- ・高齢者対象の買物代行 等

人事院地方事務局（所）の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712 さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513 大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019 高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務所	Tel. 098-834-8400	〒900-0022 那覇市樋川1-15-15

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo.html>

YouTube

https://www.youtube.com/channel/UCTk_x9QBe3EnDPSP2a0DrQg



X(旧Twitter)

https://x.com/jinjiin_saiyo

Instagram

<https://www.instagram.com/jinjiin.saiyo/>



Threads

<https://www.threads.net/@jinjiin.saiyo>

メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga.html>



note

<https://fusyououdan-jinji-gov.note.jp/>

内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html>



お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-3 虎ノ門アルセアタワー

Tel. 03-3581-5311 (代表)